



## バスラ日誌（6月12日）

1 日本では、自動販売機があちこちにあり、コンビニも何でもこんなに近くに何件もあるのかと思うくらいたくさんあって、必要なものは夜中でも大体手に入る便利な生活を送っていたので、そんな生活がどれ程ありがたいことか気付かなかった。電気も水も供給されるのが当たり前で、不景気だといっても、物価は安定し、さほど困ることもなかった。信じられないような犯罪が増え、自殺者が年間3万人を超えるような国にはなってしまったが、毎日テロが起こり、爆弾や銃撃によって何人もの人が日々殺されるイラクに比べれば何と幸せな国であることか。こちらに来て、石油産油国であるにも拘わらず、国民が石油を入手することもままならず、電気も1日数時間の供給しかなくて、子供達が安全で綺麗な水を飲むことも難しい状況を知ると、少しでも早く政治が安定し、治安を回復して平和を取り戻し、国民が豊かさを享受できる国になって欲しいと願う。同時に、我が国にこのような不幸が2度と起こらないように、私たちの子供達が安心して暮らせる国であり続けられるように、こちらは祈るだけではなく、我々が努力していかなければならないのだと思う。

3 10日に18日間攻撃無しと書いた。11日夜早速DF。至近200m、屋根に破片が当たる音が聞こえた。15回目（30発）。バスラ4名、極めて健康。